

3年C組「天晴」2022,12,12(月)

天晴

3年C組
 米原美月 黒田葉子
 高井そら 山本優育
 吉川哲平 齊藤寛
 藤田碧 野口佳佑

金賞 信じる力で

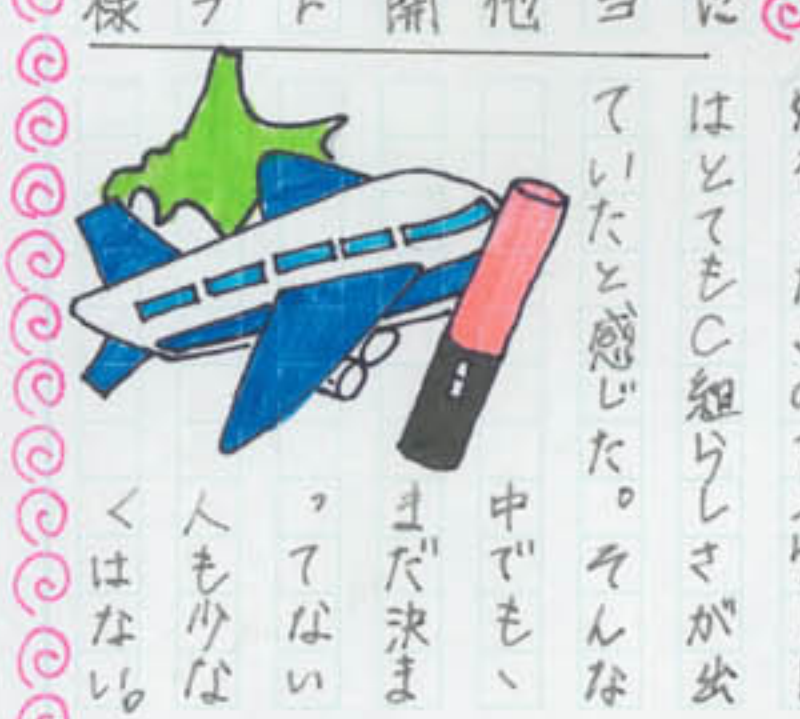
～2冠達成～

想いは届いた

二期期に入って間もなく文化祭に向けての合唱練習がスタートした。初めはほとんどの人が他のパートの人につられないで歌うので精一杯だった。音程は外れている、強弱も緩急もない。課題は山積みだった。それでも皆あきらめず、死に課題解決に努めた。練習を重ねていき、沢山のことが少しずつできてきた。C組は小林先生とのゲータッチの後、スティージに合わせた練習が、具体的な内容も多々あった。総合的に、個性的なものが多かったこのアンケートは、とてもC組らしさが出ていたと感じた。そんな中でも、まだ決まらないうえ、人も少な

将来の夢

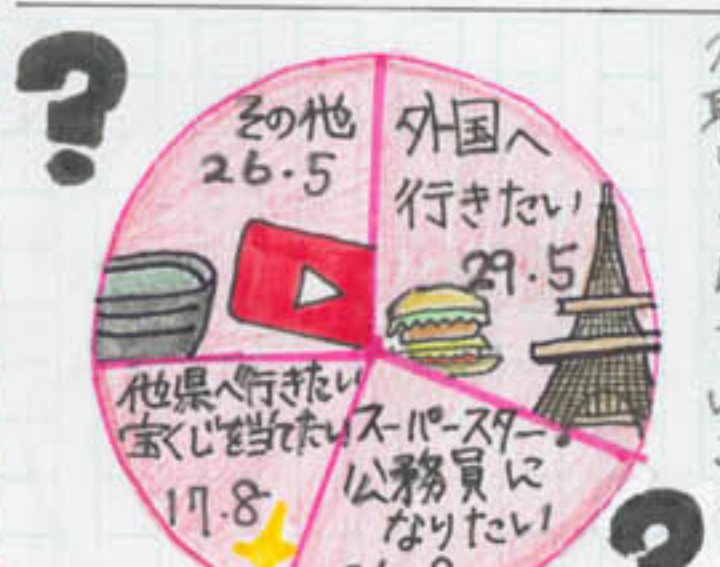
C組で将来の夢のアンケートをとった。一番多かったのは「外国へ行きたい」だった。二番目に多かったのが「スポーツスターになりたい」。「公務員として働きたい」など様



上がる。指揮の合図で歌が始まった。パートが変わり、テンポが変わっても皆が同じ方向を向いて歌っている。最後のコーラスに各々の思いをのせ、合唱は終わった。席に戻ると、小林先生が泣いていた。C組の目標達成である。他のクラスの人から「感動した」「泣きそうになった」と言ってもらえた。そして見事に金賞に輝いた。C組の合唱が何人もの心に届き、揺れ動かしたのだ。それ以上のことはない。

受験モード!!

私たちが三年生は受験まで半年を切った。だが、昔からの夢、これから決まる夢を叶えられるように、今できることに精一杯取り組んでいこう。C組の受験への意識は低く、いろいろな理由がある。その理由としてあげられるのは、授業中の雰囲気である。他のクラスと比べ、発言が少い分、騒ぐ人は少ない。結果、学年委員会で行われる授業態度点検では、対策をとらなければ人数が減らない状況となっている。そんなC組だが、休み時間には「この高



部活動 完

秋に入って部活動を引退した人が多いと思う。部活動を引退した部長、副部長に部活動を終えてのインタビューをした。野球部部長のYさんやサッカー部部長のSさんは「まだ部活動をしていたい」と言っていた。こんな風に感じている人は多いだろう。柔道部部長のSさんは「部活動をするのは楽しかったけど、もっと真剣に取り組むべきだった」と言っていた。色々な思いがあると思うが、その思いを次に活かして欲しいと思う。今入試に向けて、全員で頑張っていこう。



受験が段々近づいてきた。三年C組は休み時間勉強している人が見られる反面、授業中に寝ている人も見られる。また、授業中にうるさくしている人が目立つようになってきた。このように受験生という自覚を持っていない人、持っている人、差が出てきている。三年C組は仲が良く、和気藹々としている分、授業中に盛り上がり、脱線してしまうことが多いのが今の課題だ。これからの期間、集中して過ごしていくことが大切である。

編集後記
 大きな行事や部活動が終わり、受験に一直線な三年生。そんな中、C組はまだ落ちつきがないよう。今回の新聞を通して明確になった課題を、残りの時間で無くしていきたい。そして、C組らしさを最後まで走りぬこう。